

令和4年度第二回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和4年12月8日(木)に、当研究所において令和4年度第二回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事後評価3件で、評価結果は、次のとおりです。

1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

2 評価対象研究課題

令和3年度に終了した基盤研究2課題および重点化研究1課題、計3件に係る事後評価を行いました。

【事後評価 3件】

[基盤研究]

- ① 富士登山者の転倒関連要因の調査および動物モデルによる改善方法の検討 (H30～R3)
- ② 弾道放出岩塊の挙動解明と建築物への影響に関する研究 (R1～R3)

[重点化研究]

- ③ 富士火山北東麓における噴火履歴の解明 湖底堆積物を使ったテフラ層序の高精度化 (R1～R3)

3 研究課題に対する評価結果

- (1) 終了課題3課題に対する総合評価点(5段階評価)は、4.0～4.5(平均4.3)で、全ての研究課題とも、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:令和4年8月1日～令和6年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平田 徹	山梨大学 名誉教授	生態・環境学
副委員長	石原 和弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大山 勲	山梨大学大学院 教授	地域・都市計画学
委員	松本 英昭	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政
委員	田中 将志	健康科学大学 理学療法学科 教授	神経解剖学
委員	森口 祐一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

(別紙2)

令和4年度 第二回 富士山科学研究所課題評価委員会 評価対象研究課題

日時：令和4年12月8日(木) 10:30～

場所：富士山科学研究所 本館棟 ホール

評価区分	研究種目	課題名	期間	評価点
事後評価	基盤研究	1 富士登山者の転倒関連要因の調査および動物モデルによる改善方法の検討	H30 ～ R3	4.0
		2 弾道放出岩塊の挙動解明と建築物への影響に関する研究	R1 ～ R3	4.3
	重点化研究	3 富士火山北東麓における噴火履歴の解明 湖底堆積物を使ったテフラ層序の高精度化	R1 ～ R3	4.5